

2年1組 国語科学習指導案

令和6年11月25日

1 単元名 月夜の浜辺 ～作者の思いを想像しよう～

2 目 標

- ・日々使う機会のない言葉を詩の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにできる。
[知識及び技能]
- ・情景に着目し、詩の構成や表現から作者の思いを考えることができる。
[思考力、判断力、表現力等]
- ・言葉の意味や良さを知り、使いながら、自分の思いや考えを伝えようとする。
[学びに向かう力、人間性等]

3 単元計画

- 第一次 モアイは語る . . . 4時間
- 第二次 根拠の適切さを考えて書こう . . . 1時間
- 第三次 月夜の浜辺 . . . 2時間 (本時1 / 2)

4 本時の学習

(1) 「月夜の浜辺」～作者の思いを想像しよう～ [第三次中1時]

(2) ねらい

- ・情景に着目し、詩の構成や表現から作者の思いを考えることができる。

[思考力、判断力、表現力等]

(3) 学習過程

学習活動と児童生徒の主な意識の流れ	時	評価 (◎) と支援 (・)
1 学習のめあてをつかむ ・前時の復習をする。 ・作者について確認する。 ・詩の構成や表現について確認する。 ・範読する。 ・詩の内容について、気になることや難しい言葉を確認する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・作者の思いを想像しやすくなるよう、前時の復習をする。 ・「袂」「抛る」など、日々目にしない言葉や反語について理解できるように、スライドで意味を見せる。【ICT】 ・作者の心情を想像することができるよう、自分と比較する。 ・作者の「ボタン」への心情を考えられるよう、「拾う」だけでなく「捨てられない」という行動に着目させる。 ・考えた意見が共有できるようムーブノートを使う。【ICT】 <p>◎情景に着目し、詩の構成や表現から作者の思いを考えることができる。(ムーブノート) [思考、判断、表現]</p>
< 作者にとって「ボタン」は どのようなものだろう >	10	
2 自分で考える ・自分だったら落ちている「ボタン」を拾うかどうか考える。 ・「ボタン」に対する思いがわかる作者の描写を確認する。	15	
3 自分の考えを伝え合う ・作者が、「ボタン」を拾い、捨てられない理由を考える。	10	
4 みんなで考えを深める ・考えた意見を共有する。	10	
5 「わかった」「できた」をまとめる ・作者の思いをまとめる。	10	
ただの「ボタン」でも、作者にとっては、捨てることのできない大切なもの。		

(4) 参観の視点に関する工夫点

- ②生徒が自分の考えだけでなく、他者の意見を参考にしながらまとめられるようにムーブノートを用いて、まとめの時間を確保する。